

「ジェンダー、就業、家事：日本・韓国・アメリカの比較」津谷典子（慶應義塾大学経済学部教授）  
「日本における成人子と親との関係：比較社会の視点から」

西岡八郎（国立社会保障・人口問題研究所人口構造研究部長）

いずれの報告も調査データなどに基づいた近年の家族の諸側面を論じ、家族や人々の生き方に関する日本を含む先進諸国の将来像とその問題点にとって重要な指摘を含むものであった。

また、討論者に小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長）、野々山久也（甲南大学文学部教授）、袖井孝子（お茶の水女子大学生活科学部教授）、金 益基（韓国東国大学社会学部教授・上智大学客員研究員）の各氏を迎え、男女・夫婦関係、子育ての問題、世代間関係など、幅広いトピックについて活発な議論が行われた。（岩澤美帆記）

## 国際ワークショップ「ベトナムにおける持続可能な都市化、女性の地位、宗教」

当研究所は、平成11～13年度地球環境研究総合推進費「アジア地域における環境安全保障の評価手法の開発と適用に関する研究」（H-4、主任研究者：原沢英夫・国立環境研究所室長）のサブテーマとして実施中の「アジア諸国における持続可能な都市化と人間・環境安全保障に関する研究」の研究発表会として、(財)アジア人口・開発協会との共催で2000年3月22日（水）午後、中央合同庁舎第5号館別館において国際ワークショップ「ベトナムにおける持続可能な都市化、女性の地位、宗教」（International Workshop on Sustainable Urbanization, Women's Status and Religion in Vietnam）を開催した。前半は小島による昨年度の予備的研究「東南アジア諸国の持続可能な都市形成における人口等の諸要因の相互影響に関する研究」（FS-7、主任研究者：小島 宏）の成果を含む2プロジェクトにわたる研究の概括的な報告、後半は招聘した2人のベトナムの共同研究者（Prof. Anh Nguyen DANG and Dr. Tran Thi HOA）によるハノイとホーチミン市（旧サイゴン）における実地調査（フォーカスグループ討論と面接調査）に基づく実証分析結果の報告がなされた。熱心な内外の参加者により活発な討論が行われた。なお、プログラムは以下の通りであった。

### Opening Remarks

Part 1: Overview of the Research Project, "Sustainable Urbanization, Women's Status and Religion in Southeast Asia" (Hiroshi KOJIMA, NIPSSR)

Part 2: The Case of Vietnam

“Urbanization in Vietnam: An Overview” (Anh Nguyen DANG, Institute of Sociology, Hanoi)

“Urban Environment, Religion and Women's Status in Vietnam: A Case Study of Hanoi” (Anh Nguyen DANG and Van Anh NGUYEN, Institute of Sociology, Hanoi)

“Religion, Women's Role in Sustainable Urbanization in Ho Chi Minh City, Vietnam” (Tran Thi HOA, University of Medicine and Pharmacy, HCMC)

### Concluding Remarks

(小島 宏記)